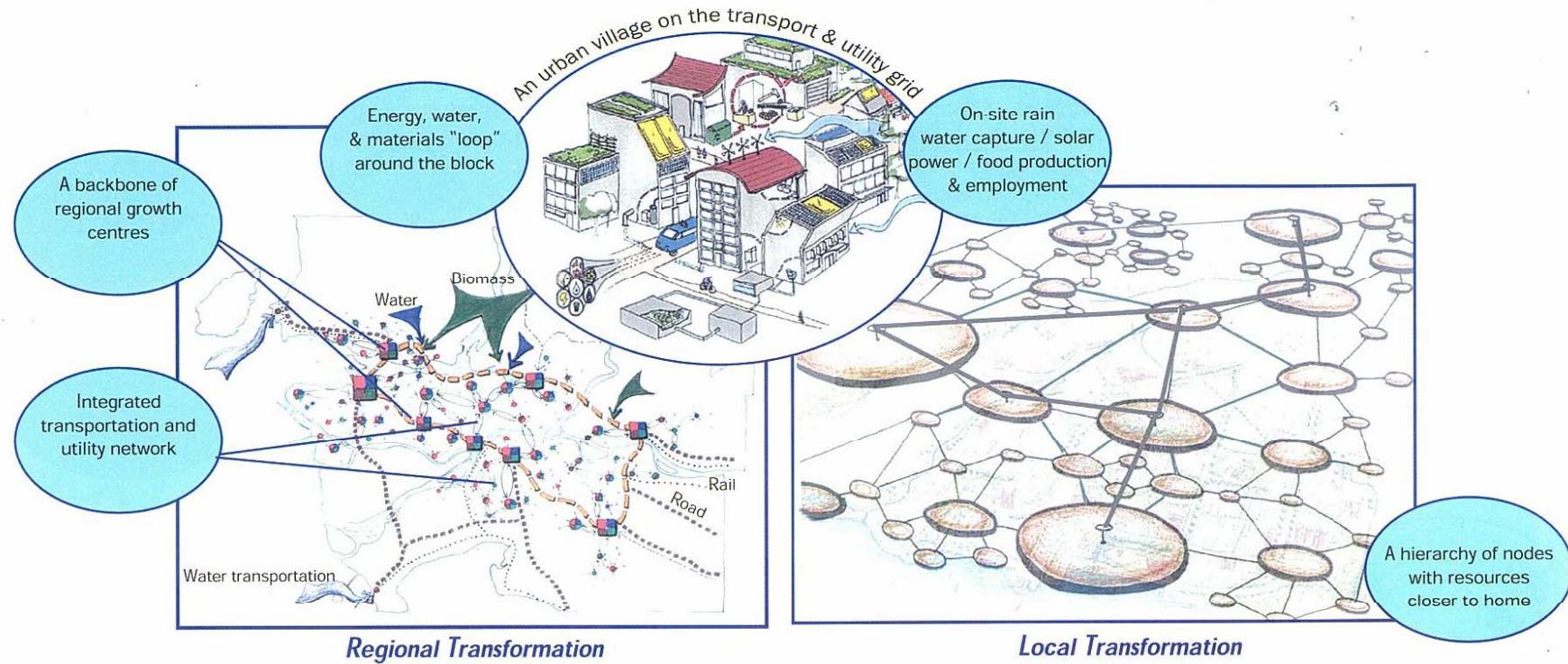


促進戦略#3: ショート・ループと総合インフラ・ネットワークの計画立案

促進戦略#3: ショートループと総合インフラ・ネットワークの計画立案



住民および地域社会が持続可能なライフスタイルおよび技術を多種多様な選択肢の中から選ぶことのできる状況を作り出す。

居住タイプや不動産保有形態の混合および多様性は、しばしば同一区画内においても促進される。街路を再設計し、センターを運営し、それぞれの民族の文化的遺産が他の民族と共有される。都市システムの構成要素は、技術および資源の多様性に適用するよう意図的に設計される。

都市計画・建築規制は、目的を基礎としたものとなり、技術革新などに対して柔軟性のあるものとなる。土地利用・交通計画は、地域全体がモザイク状になるように立案され、住民は、街路景観、車の保有、アメニティを自由に選べるようになる。このようにしてグレーター・バンクーバーは、選択可能地域、すなわち質の高い生活と適用・再生能力の両方に多様性が付加された地域となる。

戦略指標の状態

- ・複数世帯居住単位を25%以上有する近隣社会の割合(%)
- ・種類ごとの車両(自走式を含む)保有人口割合(%)